

経済ポケット ジャーナル



★神戸経済の飛躍にむけて
「神戸経済会議」開かれる
ポート・ピアの神戸経済
会議の第一回が、昨年12
月8日、神戸国際会議場で
開かれた。この会議は、学
生会議のこの日は、会長に石
野信一氏、△太陽神戸銀行会長△
副会長に鬼塚喜八郎氏、△國
アシックス社長△を選んだ後、
神戸経済の現状報告と、牧
冬彦氏△神戸製鋼所副社長△、
柏井健一氏△柏井紙業社長△、
木口衛氏△新ワールド会長△、
株主による意見交換が
行なわれた。

★ユーハイムが“故郷”で

合併会社設立

ユーハイム△河本春男社
長△では、西独フランクフルトのカフェ・ラオマーの
経営者ミハエル・リンバッハ氏との合併による商ユ

ハイム・リンバッハ社を設立し、4月にフランクフルト市内に直営のカフェテラスをオーブン、58年9月操業を目指して生産工場の建設を予定している。日本の洋菓子界では西独に初めて構成され、コンベンション都市へのアプローチ、観光問題、中高年問題、新産業の展開などが審議される。総合企画、観光国際化、工業、流通ファッショ

ニなどから54名の委員によつて構成され、コンベンション都市へのアプローチ、観光問題、中高年問題、新産業の展開などが審議される。総合企画、観光国際化、工業、流通ファッショ



フェ・ラオマー3店舗に商品供給する計画。
4月に新規出店するカフエ・テラス「ユーハイム」
の建物、ハオブト・バッヘ
は、1700年代に衛兵所



フランクフルト市内ハオブト・バッヘ店

★カナダのビッグプロジェクトに神戸の企業が参加
南泰吉社長△では、国際化時代にふさわしく海外不動産の紹介に力を入れて

いるが、この程国際的な不動産投資会社、ブッシュ・ワールドワイド・カンパニーと提携、カナダ・トロントで進行中のコンコルド・ブレークという1千億円の大プロジェクトに参加することが決まった。トロント市内に直営のカフェテラスをオーブン、58年9月操業を目指して生産工場の建設を予定している。日本の洋菓子界では西独に初めて構成され、コンベンション都市へのアプローチ、観光問題、中高年問題、新産業の展開などが審議される。総合企画、観光国際化、工業、流通ファッショ

ニなどから54名の委員によつて構成され、コンベンション都市へのアプローチ、観光問題、中高年問題、新産業の展開などが審議される。総合企画、観光国際化、工業、流通ファッショ



★KOBÉオフィスレディ

福島みどりさん(20)
△神奈石野証券、受付△

福島みどりさんは、神奈石野証券の窓口は、高校の商業科で学んだことを生かすため、とじきりした意見の人だ。好きなのは映画。友達と一緒にワイワイ言いつつ観賞、最近良かったのは魔界軒生。編物、お茶などお稽古事に多忙な毎日だ。

COFFEE BREAK

★ファッショントリニティ・海外

の超優良企業誘致を

神戸経済の未来像を考え

る「神戸経済会議」の第一

回総会が、昨年12月8日、

ポートアイランドの国際会

議場で開かれたが、その席

上で、委員のひとり、木口

衛さん(ワールド会長)は、

ポートアイ

ランドに建

木口 設予定のフ

アッショントリニティ

街区に対し「ここ10年の

間に成長したアバランチ業界

は、私も『クビ』になる

くらいに若い世代がやつて

おり、ファッショントリニティ街区へ

の進出は大変な決意と理想

です。その若い力に応援し

ていただきたい」と神戸の

財界、行政に要望し、加え

て「神戸がファッショントリニティ

業都市となるために、海外

の超優良企業を誘致した

い」とファッショントリニティ街区完成

への提案を語った。

★第一勧銀VS電通の

L P “髪”

東京電通のビデオ・ディ

スク部で活躍中の新井満さ

んが、この二月に、第一勧

銀の銀行マンでシンガソン

グライターの小椋佳作詞に

よる“髪”を作曲し唄つた

L Pが、コロシビアレコー

ドより発売される。

昨年暮れ

満の神戸ネオ

トロピカル

協会のXマ

ンティで初めて“髪”

を紹介したが、しつとりと

ングライター同士の出会い



生鷗居玲
先生、西村
功先生など

を、ぼくの上京を待つていて企画した仕掛けがいるんです。今まで、なかなか決まる作曲がなくて、ぼくはすぐOKが出て吹き込みました。まあお互いに新しい血を吸いしあった感じですね。ぜひ聴いて下さい

★村上和子の初体験

というのは、3月25日に

保育社のカラーブックスで

村上和子さんが「神戸味ど

ころ」を処女出版する話。

サンTVのディレクター

ながらその美貌と行動であ

ちこちから、ひっぱりだこの彼女だ。今度はその文才

が買われて、念願だった出

版のチャンスとなつた。

★和子題名のと

おり、神戸

のうまいも

んの店が連

なるが、単なる料理紹介で

なく、オーナーや料理人、

その店に集う人など料理の

付加価値も記され、村上さ

ん自身の交友関係も自ずと

表われる。「自分が興味を

持つ“食べる”こと”がテー

マで本が書けて幸せ。本当

は教えたくない空場も書い

たけれど、神戸って老舗だ

からというだけではダメネ

新しくても味や段階や雰囲

気や人が良ければ皆飛び

だ

と強調する。



和子

題名のと

おり、神戸

のうまいも

んの店が連

なるが、単なる料理紹介で

なく、オーナーや料理人、

その店に集う人など料理の

付加価値も記され、村上さ

ん自身の交友関係も自ずと

表われる。「自分が興味を

持つ“食べる”こと”がテー

マで本が書けて幸せ。本当

は教えたくない空場も書い

★本場の酒の味を

消費者に

「われわれの努力も足らな

かったが、これからは積極

的に本場の日本酒の味をビ

ーアールしないといけな

い」と力説するのは嘉納正

治白鶴造社長。一部の才

力工場だという認識を一般

にも持つて

「欲しい」と

嘉納 話す。「自

動車や家電

メーカーも部品は下請け工

場へ出している。われわれ

も同じだ。協力工場だから

技術指導、技術提携をやつ

てある。協力工場だから結

局わが社の製品を作つてい

ることになる。提携先の工

場から部品を仕入れると

同じことなんですよ。ブラン

ドに信頼がおけるのは優秀な部品があるからです」

そして、「本場の酒の味を消費者に」が今後とも常に頭に置かねばならぬことだと強調する。

★小西保文さんが東京へ

神戸二紀の小西保文さん

が、2月から東京の郊外に

引越される。

奈良県吉野で生まれ、神

戸に住んで30年余りになる

小西さんは、「神戸に青春の思い出を埋めました。き

さない方だけど神戸は心

のふるさとです。中西勝先



嘉納 正治

★本場の酒の味を

消費者に

「われわれの努力も足らな

かったが、これからは積極

的に本場の日本酒の味をビ

ーアールしないといけな

い」と力説するのは嘉納正

治白鶴造社長。一部の才

力工場だという認識を一般

にも持つて

「欲しい」と

嘉納 話す。「自

動車や家電

メーカーも部品は下請け工

場へ出している。われわれ

も同じだ。協力工場だから

技術指導、技術提携をやつ

てある。協力工場だから結

局わが社の製品を作つてい

ることになる。提携先の工

場から部品を仕入れると

同じことなんですよ。ブラン

ドに信頼がおけるのは優秀な部品があるからです」

そして、「本場の酒の味を消費者に」が今後とも常に頭に置かねばならぬことだと強調する。

★小西保文さんが東京へ

神戸二紀の小西保文さん

が、2月から東京の郊外に

引越される。

奈良県吉野で生まれ、神

戸に住んで30年余りになる

小西さんは、「神戸に青春の思い出を埋めました。き

さない方だけど神戸は心

のふるさとです。中西勝先

★本場の酒の味を

消費者に

「われわれの努力も足らな

かったが、これからは積極

的に本場の日本酒の味をビ

ーアールしないといけな

い」と力説するのは嘉納正

治白鶴造社長。一部の才

力工場だという認識を一般

にも持つて

「欲しい」と

嘉納 話す。「自

動車や家電

メーカーも部品は下請け工

場へ出している。われわれ

も同じだ。協力工場だから

技術指導、技術提携をやつ

てある。協力工場だから結

局わが社の製品を作つてい

ることになる。提携先の工

場から部品を仕入れると

同じことなんですよ。ブラン

ドに信頼がおけるのは優秀な部品があるからです」

そして、「本場の酒の味を消費者に」が今後とも常に頭に置かねばならぬことだと強調する。

★小西保文さんが東京へ

神戸二紀の小西保文さん

が、2月から東京の郊外に

引越される。

奈良県吉野で生まれ、神

戸に住んで30年余りになる

小西さんは、「神戸に青春の思い出を埋めました。き

さない方だけど神戸は心

のふるさとです。中西勝先

★本場の酒の味を

消費者に

「われわれの努力も足らな

かったが、これからは積極

的に本場の日本酒の味をビ

ーアールしないといけな

い」と力説するのは嘉納正

治白鶴造社長。一部の才

力工場だという認識を一般

にも持つて

「欲しい」と

嘉納 話す。「自

動車や家電

メーカーも部品は下請け工

場へ出している。われわれ

も同じだ。協力工場だから

技術指導、技術提携をやつ

てある。協力工場だから結

局わが社の製品を作つてい

ることになる。提携先の工

場から部品を仕入れると

同じことなんですよ。ブラン

ドに信頼がおけるのは優秀な部品があるからです」

そして、「本場の酒の味を消費者に」が今後とも常に頭に置かねばならぬことだと強調する。

★小西保文さんが東京へ

神戸二紀の小西保文さん

が、2月から東京の郊外に

引越される。

奈良県吉野で生まれ、神

戸に住んで30年余りになる

小西さんは、「神戸に青春の思い出を埋めました。き

さない方だけど神戸は心

のふるさとです。中西勝先

★本場の酒の味を

消費者に

「われわれの努力も足らな

かったが、これからは積極

的に本場の日本酒の味をビ

ーアールしないといけな

い」と力説するのは嘉納正

治白鶴造社長。一部の才

力工場だという認識を一般

にも持つて

「欲しい」と

嘉納 話す。「自

動車や家電

メーカーも部品は下請け工

場へ出している。われわれ

も同じだ。協力工場だから

技術指導、技術提携をやつ

てある。協力工場だから結

局わが社の製品を作つてい

ることになる。提携先の工

場から部品を仕入れると

同じことなんですよ。ブラン

ドに信頼がおけるのは優秀な部品があるからです」

そして、「本場の酒の味を消費者に」が今後とも常に頭に置かねばならぬことだと強調する。

★小西保文さんが東京へ

神戸二紀の小西保文さん

が、2月から東京の郊外に

引越される。

奈良県吉野で生まれ、神

戸に住んで30年余りになる

小西さんは、「神戸に青春の思い出を埋めました。き

さない方だけど神戸は心

のふるさとです。中西勝先

★本場の酒の味を

消費者に

「われわれの努力も足らな

かったが、これからは積極

的に本場の日本酒の味をビ

ーアールしないといけな

い」と力説するのは嘉納正

治白鶴造社長。一部の才

力工場だという認識を一般

にも持つて

「欲しい」と

嘉納 話す。「自

動車や家電

メーカーも部品は下請け工

場へ出している。われわれ

も同じだ。協力工場だから

技術指導、技術提携をやつ

てある。協力工場だから結

局わが社の製品を作つてい

ることになる。提携先の工

場から部品を仕入れると

同じことなんですよ。ブラン

ドに信頼がおけるのは優秀な部品があるからです」

そして、「本場の酒の味を消費者に」が今後とも常に頭に置かねばならぬことだと強調する。

★小西保文さんが東京へ

神戸二紀の小西保文さん

が、2月から東京の郊外に

《東＝文化人》

田辺 聖子

（作家）

カモカのおつちゃん・太刀持ち たかはしもーさん・露払い付き

酒とサカナと唄とおつちゃんと

お聖さん「お酒を飲み始めたのは、同人雑誌をやつてい

た、その頃からですね。同人雑誌に酒はつきものやから……でも、ほんとうに本格的に飲み出したんは、おつ

ちゃんの晩酌につき合いしてからね。子供の頃も、わが家はお酒飲みでね。おじいちゃんも

お父ちゃんも晩酌していたわね」

カモカ「それでもね、仕事終えて夕方から飲む、朝からやないんよ。それがええんよ」

お聖さん「日が暮れんと飲んだらアカンネン」

孟さん「お聖さんのお酒は、おつちゃんが開発してん」

カモカ「そうそう、ちょっとこの位の短かい、ちよろつとしたヒモやったんがだんだん長くなってきた。(笑)

ついには、こつちより太うて長うなつてきて」

孟さん「そいでロープになつたんや」(笑)

お聖さん「おつちゃん、もう今夜はこれでエエのん(笑)」

カモカ「そう逆転して、ロープが横綱になつてしまつた」(大爆笑)

お聖さん「荒田の湊川診療所の頃よね。カモカのおつちゃんをマカンブツサールが招待してくれたでしょ。あの頃がピークや」

カモカ「あの頃、二人だけでもビール一本を食前酒に飲む訳や。酒を一人で五合か六合か飲んで、それが終つた

東京の女性編集者は皆結婚したがつてねエ。それとね、

お聖さん「『しゃねる』のママも元気一杯やつたしね」

カモカ「あないにコケヘンかつたもんな。『しゃねる』

へ行つたらまず12時まで帰つたことがない。(笑)ホック

と気がついたら朝になつて、空が白々と明けてくる」

孟さん「おつちゃんとお聖さんの唄も、皆が唄つていた

から自然に開発されてしもたもんね」

カモカ「そうそう読売の今ちゃんなんか、ぼくらが行く

と必ず唄つて帰るのよね。井上ひさし夫妻とか、野坂昭

お聖さん「神戸に来た作家の連中も『しゃねる』へ行く

と必ず唄つて帰るのよね。井上ひさし夫妻とか、野坂昭

如、佐藤愛子さんとかね。彼女が唄うときは必ず怒りな

がらよ」(笑)「ここはお国の何百里」をね」

孟さん「河上民雄も唄うたからね。校歌やつたね。おつ

ちゃんとお聖ちゃんのデュエット、瀬戸の花嫁はバツグンやからね。あれにあてられて、お聖さんところへ來

お聖さんはお酒のサカナや料理つくるのが手早うて上手なんよ。作家にしどくのはもったいないぐらいや（笑）

お聖さん「いやー懐しいね。あの台所と座敷」

カモカ「今、思うたら穴倉やで（笑）」

お聖さん「皆、帰るとき失礼しますいうて、お風呂場の

戸を開けるネン（笑）そこちやいます、ちやいます。（笑）

孟さん「面白半分」で（聖）と（愛）特集をやつて八田

辺聖子と佐藤愛子の意／あれは秀逸やつた。ぼくも『海

軍めしたき物語』書くきっかけは、お聖さんに『面白半

分』に書けといわれてからやもんね』

お聖さん「私がまだ四十二、三才の頃。一番家の中がやや

こしい頃一番元気やつたもんね。それから二人共病気をして五十一年に伊丹へ来てからはやや静かになつたね。」

カモカ「昔はヨメはんの仕事相手に、何でつき合わんなんねんという感じやつた。私には私のつき合いがあるん

じやい。それが皆とつき合い出したら入り浸りや（爆笑）」

孟さん「まあお二人は、お互いに開発のしあいやね」

お聖さん「今でも、ゆつくり、ゆつくり飲んだら3本は

飲むやろうね。そろそろ神戸あたりへ家を建てたいけれどね。スペイン風のベンションみたいな家にして、ゲストルームを最低二部屋作って、男の子と女の子と別れて

泊つてもろうて、朝まで飲むことにするワ。（笑）」



カモカのおっちゃんの太刀持ち、もうさんの露払いを從え堂々の横綱お聖さん

《西》経済人

田崎 俊作

（田崎真珠株式会社代表取締役社長）

仕事をサカナに今夜も・・・

今年は正横綱か。横綱になると負けるに負けられないし、後は引退あるのみで辛いね。本当は小結あたりでのんびりと目立たない所で飲んでいたいが無理やろね。55歳今までまだ2、3年あるから頑張って、あとは田崎部屋でも作ってやるか。（笑）

この一年は何といつてもボートピアが大きかったな。

真珠業界としては、地場産業としてのPRができたのが収穫だった。パールシティ神戸のキヤンペーンを進める若手の台頭もあり、東京の人も今年は神戸はよくやったと評価している。一社の利益が伸びたということはあまりないが、業界全体として実りのある年だった。

そこで、神戸としてはボスト・ボートピアをどうするか試金石だが、目玉のファッショントリックが今ひとつ軌道にのりきらず、歯が抜けるように脱退組もでているのは残念だ。前から言っているように単なる工業団地にしてしまわず、みんなが散策して楽しめるファッショントリックにしていきたい。難航しているが、それに気落ちしては駄目で、少数精銳でもファッショントリック都市神戸の目玉になるようなものを考えていく。神戸ファッショントリック都心にありと言えるものを作りあげる。これは市民の我々が責任をもつてやるべきことだ。

僕はね、酒の飲み方というのが親仕込みでね。仕事の

話がサカナなんだ。部下や得意先と仕事の話をガンガンやりながら気持を通じ合わせる。酒が入ると後で「しまった。あれは少し言ひすぎたな」と反省することもあるが、うまくいけば相手の気持をひきだし、こちらの本音も言える。よく飲む時ぐらいは仕事のことを忘れて……。というが、僕の場合はそんな甘ったるいもんやないな。飲んだら仕事、8割までそうだ。あとは女性。（笑）これが人生の楽しみやないかな。仕事と女、これが人生そのもので、他にはあんまりない。社内でも、社長は酔つていくれた方が商売しやすいというのと、あんまり酔つぱらうなというのと2つの説があるけど、大体まあ酔つていた方が良いようやね。（笑）ゆっくり酒を嗜むという心境にはまだ至っていない。

つい最近もアメリカに20日ばかり商売で行ってきて12月8日に帰ってきた。あつちでは昼めしでも酒が付きもので、ホテルのボーアイが「飲み物は」と来る。僕は郷に入れば郷に従えで、バーボンでも何でも飲んできたが、酒飲みは時と場所を選ばんもんだ。

真珠屋というのは特にね、いかだの上の茶わん酒からシャンデリアの下のカクテルまでこなせなくてはダメなんだ。真珠の養殖やつてる漁師と一緒に酒を飲んで魚の乾したのにハエがたかっているのを平然とつまむ。その

一方では、バイヤーとシャンデリアの下のカクテルを付
き合えなくてはいけない。これは真珠屋の心得だよ。往
々にして片方しかできない人がいるが、それだけの広が
りがあるのが真珠屋の人生であり飲み方だ。まあ楽しい
もんですよ。

僕は九州の生まれで元々は芋焼酎で鍛えたが、今はブ
ランデーが一番好きだ。ブランデーは僕の血みたいなも
んですよ。今はアメリカンというのが流行っているが、
僕は20年前から水で割って飲んでる。まあ先駆者や。
今度アメリカへ行つたついでに真珠湾に寄つて一杯や
つてきました。ハワイへは何度も行つているが、真珠湾

へは初めてで往時を偲んできた。そう言えばパールハ
バーリー……、何かの因縁かな。

海軍の頃、いやいやはとんど飲む機会はなかつたよ。
海軍というのは昔から伝統があつて、酒を飲むなら一流
の料亭で、ウイスキーならスコッチとブライドを持つて
いたんだが、僕が行つてたのはもう物資のない時代で酒
の思い出はあまりないな。

酒飲みの弁としては、こんなところかな。とにかく酒
と仕事は人生そのものだ。これが田崎一刀流の極意(笑)
だ。話はもうこんな所でいいだろ。(と念をおして晴
れやかな声で)ママ、今日は着物がお似合いですね。



酒が入ると生来の熱弁にも一層磨きがかかる(神戸時代にて)。

《東＝文化人》

鴨居 玲

〈画家〉

酒そのものより友人との会話が看

豪快、かつ優雅な酒。

——横綱の武勇伝などあれば伺いたいのですが。

「昔の飲み方は此の頃とちがつて滅苦苦茶でしたから、やつと生き残ったという感じですね。殆んど失敗談ばかりです。ブラジルにいた頃、画家の若林和男君達と、ボリビア、ペルーに旅行しました時、村と村の戦争に巻き込まれましてね、『これ以上は責任を持てぬ』という軍隊の忠告を無視して、アンデス山脈は夜気温が下がるの戦争を中止するから夜中に出発しようということになつて、鉄砲の音を聞きながら、車中でウイスキーの廻し飲み、西部劇の主人公にでもなつたような気分で、すっかり酔いましてね、車ごとヴァリケードに突き込んで捕まりました。銃を突きつけられましたが、何故か可笑しくつて、笑いを押えるのに必死でしたよ（笑）」

“吾れ死なば 酒屋の壺の下に埋めよ もしや滴の たれもせぬかと 悠々居”私の父の作った戯れ歌です。ですから子供の時から風邪をひいたといえれば酒といった調子でしたね、それに、あの人の息子なら飲めるだろうと、無理に飲まされましてね。風邪で思い出しましたが、スペインでは風邪の時は、熱い牛乳に、コニャックと砂糖を入れて飲みます、良く効きますよ。」

—— ブラジルで飲まれた思い出も多いでしようね。

「世界で一番の美人と、世界で一番の心優しい人達の住んで居る所ですね、ピンガという強い酒を、グッと一息で、コップ二杯位飲むんです、そうすると、私はこんなに、しゃべれたのかしら、という位に言葉がべらべら出て来ましてね、それから街に飲みに行くんです、やはり失敗ばかりでしたね。そうそうボリビアの首都ラバースで、画家の間部さんと二人でホテルのバーイ全部を買収したことがありましたよ、一寸その理由をここで話すわけにはいきませんが……。」

——最近は三宮界隈の取り組み場所へは行かれませんね「残りの時間を考えますと、やらなければならぬことが沢山ありますて、時間が足りない」というのが実感で。三月に東京で個展がありますので、今年は正月もおかげでしたよ。もう私自身のまとめ時だと思って居りますよ、それから出来れば北欧か、スペインに四、五年又行くつもりだけれど。

この住まいに移つてからは、表札もはずし、電話も切り、一切パーテイや会合に出席していないので多勢の方に迷惑をかけて申しわけないと思っていますが、今私の自由に使える時間だけが財産ですかね。心の許せる友人達とだけで家で飲んで居ります。酒そのものより、会話を楽しむのがいいですね」

——お姉さまの鴨居羊子さんと杯を傾けられる機会は。「よく遊びに来ますよ。共通の友人も多いし、それにあの方は良く本を読みますし、発想も新鮮で面白いですね。私にとっては最高の友人。姉弟という意識じやありません」

——昨年も六甲全山縦走に挑戦されましたね。

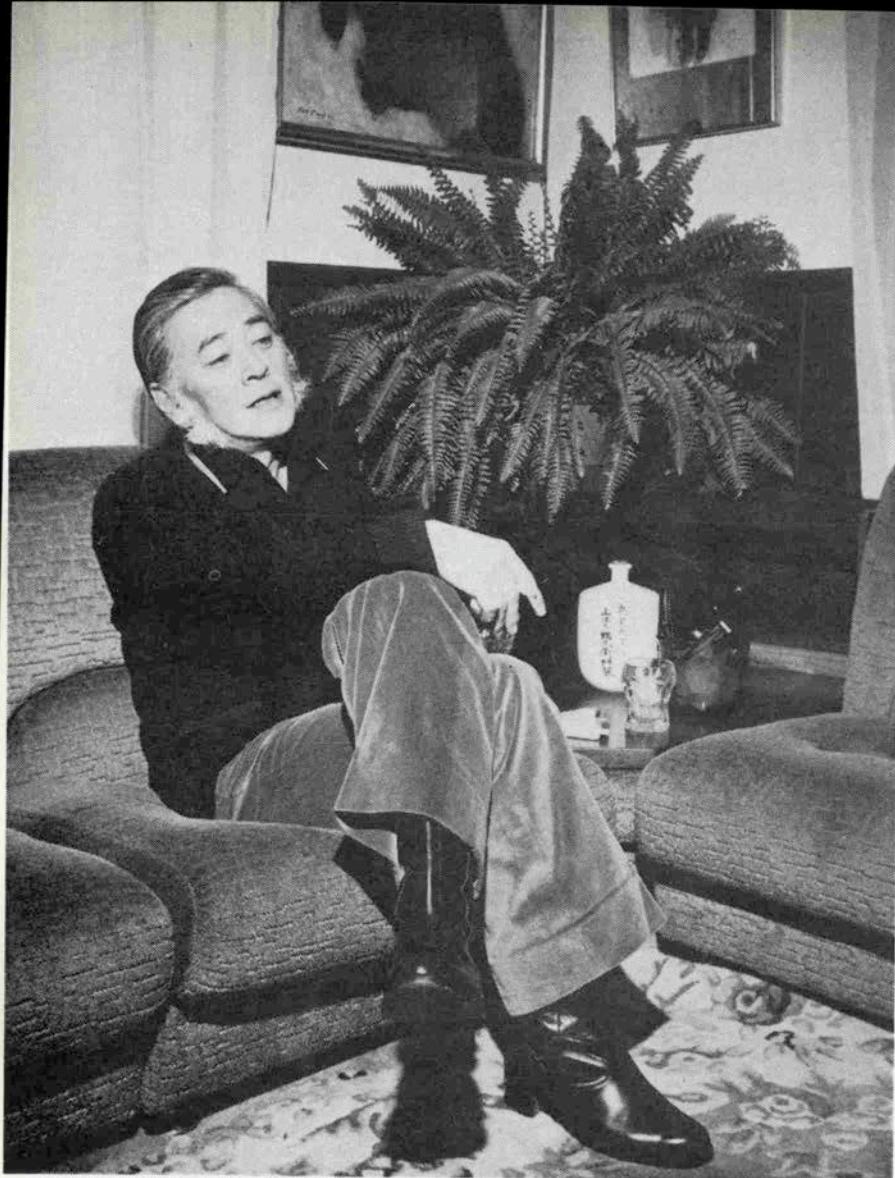
「六甲山はカラツとしてて大変好きな山です。将輝君という、九才の友人が出来ましてね、よく一緒に山へ行きます。空手を習っていて大変元気な子でね、山の上で『お孫さんですか』といわれたのが、昨年最大のショックでしたよ。

私、牛乳やチーズが好きでしてね、二日酔で頭がガンガンするっていうでしょ? アレ全く知らないんだよね。食欲がないっていう経験も恥ずかしいけれどもありません」

——画伯の理想的な飲み方とは。

「横綱の名を恥ずかしめないように、品良く、優雅に、そして豪快に飲みたいですね、無理かな……」

□三月十三日より東京日動画廊の五十五周年記念として鴨居玲画伯の「宴」をテーマに、油絵四十点を出品した個展が開催されます。



熊内の自邸は築後30年余りの日本家屋。画伯の作品と木製の家具と緑の植物に囲まれた住まいだ。

《西》経済人

畠崎 廣敏

（株式会社ワールド代表取締役社長）

友と気楽に飲むのが最高の酒

人生いかにうまくのるかやね

酒は、なんと言つてもやっぱり楽しいときに飲むことですね。そうすると楽しさがバーアと倍増するわけですよ。

仕事の合い間にね、ちょっと飲みたいなと思うときは、期待通りに非常に仕事がうまく行つた日ですね。あるいは、もう一つは、気楽な友達と会つたとき。その二つぐらいやね、酒を飲むのは。悲しいとき、淋しいとき、あるいは腹の立つたときにはまったく飲まないですね。飲むと何となく気持ちがリラックスするのかなあ……、会話が楽しくなりますからねえ。

飲んでおいしいなあと思うのは運動のあとビールが一番ですね。でも、食事をするときにちょっと飲むのにおいしいのは日本酒。ビールがうまいからと言つても、余り飲むとお腹が出るような気がする。（笑）だから結局一番よく飲むのはウイスキー、ブランデーになる。

でも酒のない食事はまずいね。寿司を食べ行つても日本酒がうまいなあと思う。僕は日本食が多いんです。多いと言うよりも好きなんですね。洋食は嫌いじゃないけれど、ちょっと好きじゃない。でも、もうわれわれぐらいの年齢になるとおいしいものを少し食べたらいいんじゃないかな、あれやこれやなくてね。お酒も料理も量でいかにおさえるかということ。そんな気持ちがま

ず先にしますね。

ポートアイランドのファッショントウンに新社屋を建てていますが、ワールド一社のビルという気持ちではつくつていません。と言うのは、ファッショントウンという地域のことを考えてつくつているので、そういう環境に合つて、ややモニュメンタルな感じで、そしてシンボルのように見えるものであれば、というような気持ちでつくつてあるんですよ。若々しくシャープな感じで、色もシンブルで清楚な感じを出している。

ファッショントウンというのは、コミュニケーションスペースということを大事にしますから、一階の一番いいところは出来るだけたくさん木を植えて、緑の中でのカフェエテラスをつくるう、最高の雰囲気をつくつて市民にも開放して行こう、そこでお茶を飲むことによって何となく気持ちの安まる、また行つてみたくなるといううスベースをつくつて行こうと思っているんです。

ファッショントウンというからには、人がたくさん集まる場所でなければならないというのは事実ですが、多勢の人が集まつたらそれで町だと言えるかというとそうじゃない。同じような考え方、同じような価値観をもつた人が集つて、そういう人たちが生活文化をつくつて行く、そういう場でなければいけないと思うんですよ。そ

ういう人たちが一緒になつて新しい文化をつくり育てて行く。そういう感じの町でないといけないなという感じがするんやね。みんなでつくり上げて行くものだけど、まず自分のところがやるべきことをやらないと難しいと思ひますね。それと單なる問屋街、問屋団地のような感じになつては最悪。もっと人間中心の文化性のある情報の発信受信の起点になるようでなければいかんと思うね。

ファンション都市神戸というならば、もっと質の高いものでなければいけないと思うね。今は質の高いもので要求されていない。われわれのファンションでも同じことで、量から質の時代へ入つて来て、今や味の時代。

味の追求の時代には文化性の高いもの、心豊かになるものしか売れないし興味がない。情緒の段階にまで進んでいるわけですからね。

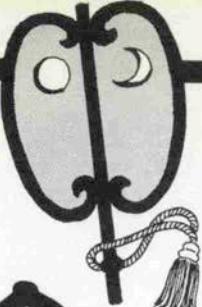
生活そのものに心のウエイトが高くなつてゐるだけに時間になつてゐるのも事実ですね。大変重要なウエイトを占め出して來たね、確かに。何をやるにしても楽しいときはのれるわけでしょう。お酒をちょっと飲むと非常にのりやすいという潤滑油みたいなものやね。人生やつぱりいかにうまくのつて行くかですからね。そのためにもお酒は必要だということでしょうね。



神戸ネオトロピカル協会主催のパーティで。左は森美代子日本ネオトロピカル協会会長、右は藤本ハルミ神戸ネオトロピカル協会事務局長。〈神戸ポートピアホテル・コスモポリタンルームにて〉

*春場所 番附座談会

審査員



東／経済人



木下 健 菊水 啓輔 三輪 吉郎

〈三富商店社長〉

〈菊水総本店社長〉

〈三輪運輸工業㈱社長〉

★カモカのおっちゃんの太刀持ち
孟さんの露払いでお聖さん横綱

A 昨年を回顧すると、ポートビ
アで始まつて終わつた一年だつた

神戸の文化、経済全般に大きなり
アクションをもたらした催しだが

余波をうけて酒の飲み方や取組場
所も少し変わつた。

B サンバで浮かれすぎたかな。
（笑）新しいホテルが随分てきて、
神戸っ子は新しもん好きだから人

の流れがそちらへ行つた。それに
輪をかけてフランス戦争と言われ
るくらい、シャンテ・クレール、
アラン・シャペル、シェ・ラ・メー
ルにしむらなどがたて続けにオー
ブンしてワインにも親しんだね。

C 地酒専門店も結構人気を呼んで
いる。飲み方が上手になつて金
のかかる所へ行かなくなつたよ。

バーと派手にがむしゃらに飲んで
いたのか、小さな店をたまに

して静かに楽しむようになつた。

B パーボンの会、ワインの会と
グループがいろいろ出来て、そこ

から流れいく二次会型も増えて
いる。場所も三宮集中から少し分
散して六甲とか垂水とか新しいた

まり場が生まれていてる。

A 選考の基準はいつものとおり
仕事上の業績、酒品、酒量を加味
して決めていく。55歳現役定年
制については高齢化社会の中で、
少し検討したら声もあるが。

C 野球の原のようにフレッシュ

な新人の活躍があつてこそ土俵も
盛り上がるよ。若手の登場する機
会を増やすための定年制だ。今回
はこのままでよいだろ。

B それでは文化人の方から選考
に入ろう。鶴居玲は飲んだ時の格
調といい酒量といい横綱格ですが
三月の個展のためにアルコールを
少し控えているようだ。

A 全集の刊行も始まり作家とし
て油のりきっている田辺聖子を

正横綱に推したいね。マカンブッ
サールの女たちをモデルにした

「ダンスと空想」という神戸の宣
伝小説も書いてくれたし。（笑）

C 大賛成だ。ただしカモカのお
っちゃんに太刀持ちを、高橋孟に
露払いを頼みたいね。（笑）

B 筒井康隆も泉鏡花賞をもらつ
たし、神戸文化ホールでの「三月
ウサギ」も成功して筒井康隆劇場

が定着した。クラリネットを吹か
せても上手だし、大した才人だ。

C もう少し神戸で取り組み場所
をふやしてほしいね。鶴居、筒井
の2人を張出横綱に入れよう。

A 重量感があるね。望月美佐は
酒の上で愉快な逸話に事欠かな
い。ラジオ関西でピューティフル
トークという番組に出てますが、

なかなか好評だ。NHKの大河ド
ラマ「峠の群像」のタイトルも書
いている。

B 今年は大関だ。張出大関には

昭和57年度 神戸酒徒選考

西／文化人

呼出し
月刊神戸っ子
(小泉 康夫)



佐藤 廉 伊藤 誠 加藤 隆久
(元町画廊) (神戸新聞学芸部) (生田神社権宮司)

都市景観条例の制定など街づくりの上で活躍する嶋田勝次。六甲で鍛えて酒も強いし女性にも親切だ。ポートピア記念メダルの製作にあたって神戸のイメージ作りに貢献したのは石阪春生。

A 今年から東京へ移る小西保文漫才ブームを支えた織田正吉。新谷秀紀も生活造形という分野で活躍している。

B 新谷一家でレリーフを作った東遊園地のふれあいの滝も良かつた。増田正和も活躍した一人だ。

C 朝比奈千足は神戸市から奨励賞をもらつたし期待の一人だ。ポートピアでも活躍している。

B テーマ館に刻まれた多田智満子の詩は印象的だった。「蓮喰いびと」「魂の形について」などの仕事も高く評価される。あまり酒は嗜まない人らしいが、あえて三役に入れておきたい。

A 前頭も多士済々だが、造形の山口牧生をまずあげたい。

B 将棋の内藤国雄は今ひとつ目立った動きがなかつた。大きなタイトルをめざしてほしい人だ。

C 野口武彦はよく学生の世話をして飲んでいる。河口龍夫はフランコロードに後藤比奈夫の句を刻んだ虹の石をつくった。

A 花道の小原夏樹はフレッシュユーライフ'81に作品を展示していた。

B 彼がサントノーレに入つても活躍している。

A 演劇では夏目俊二がコメディ・ド・ブーゲツで相変わらず健闘し

ている。松本宏は今年個展をやることになつてゐるが頑張つてほしい。弟の松本幸三は大阪毎日ホールでの独唱会が好評だつた。

B 小山乃里子も人気あるね。タクシの運転手に聞くと、まつ先に名がある。

A 横忠がつくつたポートピアのロブスターは文句なしに楽しかつたね。池上忠治は酒量に関しては横綱クラスだ。少しもくずれない増田洋の名をあげておきたい。博物館制定30年記念で県から表彰を受けている。新谷英子、堀尾貞治も忘れられない。

B 邦舞の中では飲む量では花柳芳恵一子。もう一度燃え立つ舞台を見たいね。だから今回は若柳吉金吾の若々しいダッシュぶりに点を入れよう。

A 生活文化研究所を主宰する板東慧も頭角をあらわしてきた。建築界からは県南厅舎の保存のために力を尽くした武田則明を入れようか。幕内はここまでだね。

C 十両の筆頭に小林信次郎。「一粒の麦」の翻訳でアフリカ文学評議の気運を起こした。輸入促進フォーラムなどで国際交流のためにも活躍している。

くと「卯の花のにおう浜辺に」と音楽が流れるんだ。「夏は来ぬ」だろう。(笑)

C 新顔では陶芸の市野茂良、洋

画の初田壽。初田は地味だが後進の指導をよくしている。

A 映画「風の歌を聴け」を完成させた大森一樹もいい。伊藤ルミは結婚したがリサイタルはよかつた。宮崎豊治もあげておこう。

B 文学の方ではSFファンの間で人気のあるかんべむさし、日本詩人クラブ賞をうけた鈴木漠がよい仕事をしている。

C ポートピアで頑張ったという点ではビデオアートの福野輝郎。

神戸大学の鈴木正幸、漫画家の丘

あつしもよくあちこちで顔を見る

B 華道からもう一人吉田泰巳を入れよう。豪快な人柄どおりの飲みぶりだ。

A ジャズの小曾根実もサンTVの司会で元気だよ。染色の白石弘子は神戸と倉敷で個展を開いた。

C 植松奎二は昨年の暮れに帰つてきて個展をやつたが、滞在が短かつたから休場のままでよいね。

B 新井満が東京へ移つて淋しくなった。齊藤智も海外へ出て活躍しているが飛躍を期待したいね。

A 異業種の増田正和に

B 三賞の選考に入ろう。ロブスターの榎忠を敢闘賞に推したいがどうだろう。

A ポートピアのテーマ館で話題をよんだ力作だし、若手の有望格で敢闘にふさわしいね。

C 殊勲賞は増田正和がいい。昨年は彼にとって当り年だった。

A 「暮しの中のユーモア」を出して神戸では初めて出版記念会を開いた織田正吉にも何か賞をあげたいね。

A 「空襲を記録する会」の活動も全国の会と連帶して「日本の空襲」を完成させ特筆すべきものが

ある。君本昌久は検査役にしよう

C 酒は飲まんそだが、多田智

満子の最近の仕事ぶりは技能賞に価すると思う。

A それで決定しよう。殊勲賞は増田正和、技能賞は多田智満子、

敢闘賞は榎忠。フレッシュな人たちが前面に出てくれた。

★ 経済界はバールシティ神戸の重鎮、田崎俊作が返りざき

D それでは引き続いて経済人を経済界でもこの一年はポートピアで明け暮れた。その色の出る番付にしたいね。

F 前回に横綱だった石野成明は

残念ながら年齢オーバーだね。永年登場していただいたが今回から行司をつとめてもらおう。

E すると田崎俊作の三年ぶりの返りざきが順当だね。芋焼酎で鍛えた飲みっぷりも豪快だし、真珠

業界のリーダーとしていよいよ貴格も十分。

D ワールドの畠崎廣敏は業績もよし、ポートアイランの本社も着工し昨年同様話題をさらつてい

る。ぜひ張出横綱に。

E 張出横綱はもう一人、コンペ

ンション都市にかける中内力をあげておきたい。肝臓を悪くして飲む方は一時ほどではないが。

F 同じくポートピアでの活躍組だが、単独でバビリオンを出展したUCCの上島達司を大関に昇格させたい。

G よく飲んでいるのは樽本久、寺本滉はやはりポートピアで業績を伸ばした。精勤ぶりも相変わらずのようで張出大関。

E 下村光治も会場に出店し風月堂ホールも益々充実させて頑張っていたから閑脇。

D 飲むと強いのが島田文六。京都に新しくオーベックファンを作つたり活躍しているが地元でもつと取り組み回数をふやしてほしい

F YPOの会長として大役をこなしている野澤太一郎は張出閑脇にもつてこよう。

E 県倉庫協会の会長を勤める川西章二。KFAのまとめ役であるオールスタイルの川上勉、業績のあがっているキムラタンの木村豊

D なかなか立派な上位陣がそろ

つたね。

★ よう飲んでよう儲けた

E 淡路フエリーの井植貞雄はすつかり社長業も板についた。夜のつきあいも評判がいい。前頭筆頭に昇進。ジャヴァの細川数夫、小林桂の小林博司も業績をあげた。

F 真珠の木下章夫は新社屋を完成させ、小売にも乗り出して意欲的だ。白川寛は自然食品のナチュラルハウスを拡張した。

D 眼やかな酒で唄もよう歌う片山開をこの辺に入れよう。カネボウベルエイシーの稻岡必三、ユーハイムコンフエクトの西正興も番附の常連だ。弁護士の阿部清治、医者の戸山祥三もよく飲んでいる

F ケミカルシューズのリーダーとして輸出を伸ばしている河野忠博。新顔で最近三宮をめきめき荒している眼科の村井正明は口こそ悪いが面倒見がいいという話だ。

E つるや衣裳店の島田光夫は病気で一時検査役に回っていたが、復調ぶりが著しい。本当はもう少し上へあげたいが体のためにこの位置くらいに復活。

F 宮田組の宮田喜夫は神戸ホーミビルダー事業協同組合で塩屋に団地を作つて活躍している。田村厚、JCの理事長を勤めた塚本哲夫も幕内に入れておかなくてはいけない。

G JCの新理事長、西村隆治は

学究肌だが付き合いはよい。活躍を期待して十両筆頭へ。大工建設の西宮章泰はリンクスギヤラリーなどを手がけた仕事が光る。

F クラブのママでは小万の岩本起代子、るふらんの浦野久子がは

させない。元気で頑張つてほしい者を勤めた伊丹威も今年JCを卒業だが、卒業グループの話役をやつていて。後藤修、三木重昭も

よく飲んでるね。三木は日本JCの専務理事をやつて頑張つていて

G 北野クラブの浅木幸雄はJCの新副理事長だ。南豊太郎は手広く新聞雑誌の販売を手がけている

F 同じ北野で街づくりに貢献しているグループを代表して菊地吉

弘をあげたい。

E ワシントンホテルに移転して店を新しくした榎晴夫、シンエーフージで仕事を伸ばしている田中

教仁も活躍した一人だね。

G みやこ真珠の小川博はJCのシニアクラブの話人をよくやつていて。人柄がよいのか人望も厚い。石丸鐵太郎も空港問題プロジェクトの仕事を引きついで張り切つている。月岡倉庫の月岡清市、淡路屋の寺本勤も今回初登場してもらおう。

E 石野さん以外にも年齢制限で士俵をはずれる常連メンバーの、

健闘を讃えておかなくてはいけない。

★ ポートピアと神戸空港提言で殊勲賞上島達司敢闘賞塚本哲夫

G ポートピアで大いに活躍した人たちで上位陣をかためて、フレッシュな顔ぶれも入つていい番附になつたね。

E 自画自讃だが、こうして並べると猛者、技能派ぞろいで見事だ。審査員冥利につきる。

F 殊勲賞だが、今年特に目ざまやつていて。後藤修、三木重昭もよく飲んでるね。三木は日本JCの専務理事をやつて頑張つていて

G ポートピアの年という意味で全国の大企業に伍してUCC館を

出展した上島達司が殊勲賞にふさわしい。

F よく頑張つてくれた。上島は決定しよう。技能賞には誰かいるかな。

E 新社屋を建てて話題をよんだ木下章夫はどうだろう。

G うん、彼は歌も好きだし、昼も夜も精力的によく動いてる。男っぽい良い男だね。

F 敢闘賞を空港誘致ののろしをあげて頑張つた塚本哲夫にあげた。JCが編集した「海から空へ—神戸と新国際空港」は説得力のある内容だった。

G それで決定だ。最後に検査役にそぞうの山田恭一、行司に角南猛夫、取締役に経済同友会の代表幹事をつとめる櫻木茂男を加えておこう。

(栄光にて)

季節を超えたうまさ。

この一滴に、
ニッカの
総てをこめて。



●写真左より、キングスランド5000円、スーパー・ニッカ3200円、
フィーチュン'80 10000円。(いずれも標準小売価格です)

ニッカウヰスキー

神戸酒徒番附